

科目名称：	色彩学（美術学科）	
担当者名：	鳴海 智子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
主に色彩士検定3級を受験するために必要な知識を習得します。職場や生活において色の選択は日常的に行われるため、色の力を利用してコミュニケーションを円滑にする方法やインテリアやファッションなど用途に応じた 基礎的な配色法も学びます。		
授業の達成目標・到達目標		
主に色彩士検定3級を受験するために必要な知識を習得します。職場や生活において色の選択は日常的に行われるため、色の力を利用してコミュニケーションを円滑にする方法やインテリアやファッションなど用途に応じた 基礎的な配色法も学びます。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)	0	30	50	20	100
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考
色彩士検定試験を受験するための授業なので、定期試験は行わず確認テストや検定試験対策授業で行う模擬試験などで対応します。

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
色彩士検定試験3級の試験に合格するための知識の習得	授業後に理解したことをまとめ単元ごとの過去問題に積極的に取り組み更に理解を深める。解らないところがあれば質問する。	授業後に理解したことをまとめ単元ごとの過去問題に取り組み更に理解を深める。	授業後に理解したことをまとめ単元ごとの過去問題を1回はやってみる。	授業で解ったことをまとめられない。過去問題を自主的にはやらない。
色彩基本課題1～4	文字が読みやすく文章も簡潔に分かりやすく丁寧に仕上げている。	わりと丁寧に仕上げている。	少し雑だが一応基本を理解して仕上げている。	課題1～4のいずれか未完了。
色彩応用課題5	色彩構成にセンスや個性が光り文章も分かりやすくまとめられ、全体のレイアウトも美しく仕上がっている。	努力が感じられ真面目に取り組み丁寧に仕上げている。	色彩構成に余白があり仕上げが雑であるが一応出来ている。	色彩構成を中途半端にして提出している。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 色彩学を学ぶ意義・色の歴史 演習課題1:「Color 自己分析」	教科書1章 いろのなりたちを読んでおく。	20分
第2週 第1章 色のなりたち - 物体の色 演習課題1:「Color 自己分析」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第3週 第1章 色のなりたち - 目の構造と視細胞 演習課題2:「PCCS 色相環」	1章で学んだことをノートにまとめる。	30分
第4週 第2章 混色 - 加法混色 演習課題2:「PCCS 色相環」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第5週 第2章 混色 - 減法混色 演習課題2:「PCCS 色相環」	2章で学んだ加法・減法混色の違いをノートにまとめ理解する。	30分
第6週 第3章 色の表示方法 - 色の三属性 演習課題3:「PCCS 等色相面」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第7週 第3章 色の表示方法 - ヒュートーンシステム 演習課題3:「PCCS 等色相面」	3章で学んだヒュートーンシステム等をノートにまとめ理解する。	30分
第8週 第4章 色の知覚的効果 - 色の対比・同化 演習課題3:「PCCS 等色相面」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第9週 第4章 色の知覚的効果 - 感覚に及ぼす色の効果 演習課題4:「トーン:色調のイメージをつかむ」	4章で学んだトーン:色調のイメージをノートにまとめ理解する。	30分
第10週 第5章 色の心理的効果 - 色の象徴性 演習課題4:「トーン:色調のイメージをつかむ」	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第11週 第5章 色の心理的効果 - 色の習慣 演習課題4:「トーン:色調のイメージをつかむ」	課題5、色彩構成しやすい熟語を探す。色彩構成のためのアイデアスケッチを描く。	30分
第12週 第6章 色彩調和 - 色相を基準にした配色 検定対策 演習問題 1・2・3	授業内で解いた過去問題集の文章を教科書で見直しラインをひく。	30分
第13週 第6章 色彩調和 - トーンを基準にした配色 検定対策 演習問題 4・5・6	教科書の見直し、プリントの間違い箇所を復習する。課題5ケント紙に色彩表現する。	30分
第14週 第6章 色彩調和 - 基本的な配色技法 検定対策 演習問題 7・8	6章で学んだ基本的配色法をノートにまとめ理解する。	30分
第15週 総括・色彩士検定 理論問題確認テスト	理論問題の間違った箇所を見直し理解する。課題1・2・3・4の仕上げに取り組む	50分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事後学修としては、授業中に実施した確認テストを復習しまとめておく。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
課題ファイル提出後に改善点、問題点があればコメントする。

課題に対するフィードバック

課題ファイル提出後に改善点、問題点があればコメントする。

教科書・参考書

教科書: Color Master BASIC (NPO法人 アデック出版局)、配色カード199a、色彩士検定3級受験対策 過去問題Vol. 3